

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2170102186		
法人名	有限会社 エ・アロウ福富		
事業所名	有限会社 エ・アロウ福富		
所在地	岐阜市福富迎田72番地		
自己評価作成日	平成24年11月5日	評価結果市町村受理日	平成25年1月11日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaisokensaku.jp/21/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=2170102186-00&PrefCd=21&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ぎふ福祉サービス利用者センター ぴーすけっと
所在地	岐阜県各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル
訪問調査日	平成24年11月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

全館木材を使用し静かな田園地帯に囲まれゆったり穏やかに生活できる環境が整っている。3カ月に1回の家族会や季節ごとの外出行事など多くの家族の方が参加して頂き当事業所に対してご理解ご協力いただいている。又隣の駐車場を借りており車椅子の利用者も安全に散歩が出来る環境が整っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

静かな自然に囲まれた住宅地に建つ木造建築のホームは、家庭的な憩いの雰囲気漂っている。家族とのつながりを大切にしたいとの思いから、家族会の運営に力を注ぎ、利用者支援の両輪として役割を果たしている。季節ごとに実施している利用者、家族、職員で取り組む行事は、年々参加者が増え、家族間の交流も深まり、福祉全般の動向や課題を語り合う機会となっている。他の事業運営でも、家族が積極的に意見を提案する環境が整い、職員と家族の連携を深め、サービスの質の向上につなげている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価票

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は廊下のみやすい所数か所に掲示してあり申し送り時に皆で唱和している。月1回の職員会議の中でも運営方針・理念の唱和をし共有している。	「尽くす、心、協調、精神、共生」を理念とし、奉仕の心で接し、家庭的な雰囲気の中で毎日を過ごすことのできるよう取り組んでいる。職員会議や日々のケアの場面において理念を具体化し、共有して実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入している。自治会の行事(清掃活動・防災訓練・夏まつりなど)に参加、学校行事の資源回収にも協力している。	自治会の誘いで敬老会に3名の利用者が参加している。また、地域の資源物回収に協力している。地域の防災訓練、清掃活動には積極的に参加し、日常はホームの周辺を利用者と共に掃除している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎年、自治会の夏祭りに会場提供し、事業所として、たこ焼き・お好み焼きなどの屋台をだしており、好評を得ている。入居者も食べ歩き、ビンゴなど楽しみにして参加している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月ごとに開催し、事業報告・行事報告にたいする評価や意見を聞き、サービス向上・次回の行事に活かしている。	会議は、隔月に開催し、運営に関わる意見交換をして、サービスの向上につなげている。出席者から催し物への参加促進の提案があり、外出行事として取り入れている。	会議欠席の委員には、議事録を提供し、意見を聴くなど、次回につながる工夫や、地域の役員改選時には次期役員への引き継ぎを依頼する等の取り組みに期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には、行政の担当者にも案内状を送っている。会議以外にも行政の介護保険制度の情報や助言等指導を受けている。	困難事例や法律改正などの助言や指導を受けたり、窓口に出向き、ホームの現状を説明し、情報を得るなど連絡を密にしている。行政主催の行事、研修等に参加し、職員の技量向上につなげている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事前に、家族と話し合いをし 身体拘束のないケアに努めている。声掛けにも拘束のないよう言葉使いにも日ごろから心がけている。	外部研修を受けた職員から、身体拘束ゼロに向けた、具体例を学び、拘束のないケアを実践している。利用者の行動や意向を観察し、思いや意向が実現できるように支援をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止については、職員会議で取り上げたり、言動についてもその都度注意し、話会場を設けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	NPO法人きずなの会へ後見人制度の必要な人には紹介している。入会されている方もおり、その都度きずなの会より資料提供も受け、情報交換を行い協力を得ている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前面接を行い、家族・利用者本人に対し不案・疑問等うかがいながら契約・解約の際には十分な説明を行い、契約書は家族・施設各一部ずつ持ち理解・納得いただいている。また加算について家族会で説明し書面状にて同意をえている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月利用者会議を開いて、利用者本人の意見をまた、3カ月ごとの家族会においてもいろいろな意見・要望など聞き参考にしながら運営に反映している。毎月の請求書送付の際、毎月の行事カレンダーも同封している。	家族会を3ヶ月に1回開催し、利用者、家族の意見を聴いている。年間外出場所の選定、ホームの行事への取り組み、利用者の状態などの話し合いを行っている。また、訪問時や電話などでも家族から意見を聴き、運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月第1木曜日、職員会議があり意見・提案等話あっている。年2回 親睦会があり、その時にもいろいろ聞ける機会があり運営に反映している。	月例会議の中で、意見交換を行っている。困りごとや悩みは、直接、代表者が相談に応じている。勤務時間の調整、ケア事例の共有、課題対策等を検討し、即解決できることとから、改善している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の個々の勤務に対する取り込む姿勢を評価し各自が向上心とやりがいを持って働けるように、配慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格のない職員には、資格取得をすすめ研修については、経験や習熟度を考慮し受講してもらっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の会合や研修に参加した折、情報交換などしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談を受けたら、まず家族とともに本人に面接をし話を聞いてホームの見学をしていただき、説明をし本人が納得されてサービスを開始している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族にも面接を行い、施設側と十分な話し合いの場を設け、質問・要望等聞きながら説明をし不安疑問のないよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者・ケアマネ・職員を交えて本人と家族が何を望み何に重きを置いているかを話し合い、それに答えられるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常会話を中心に声掛けを欠かさずしたり、一緒に生活を共にすることによりお互い信頼関係を築き理解しあえるように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会や行事に参加いただいたり、面会の際日常の記録を見てもらい近況報告をし、相談を受けたり一緒に支えていける関係を作れるよう努力している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者本人の要望に応じてなじみの場へ気軽に行き来できるように支援している。知人の面会には気兼ねなく再訪してもらえるように声掛けなどおこなっている。	知人、親戚、近隣の人などの訪問が多く、居室や面会室で、気楽に話ができるように支援している。希望者で馴染みの店に出かけたり、希望の場所に出かけ、知人に会うことで、馴染みの関係が途切れない支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事・お茶の時間はもちろん、レクリエーションや、行事などの催しには、全員に声掛けし、一人部屋にいることのないように関わりが持てるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	日頃より、いつでも来訪していただけるよう信頼関係を築き、連絡がとれる体制が出来ている。転居先の施設にも、情報提供している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎月1日、利用者会議を行っておりどんな暮らしがしたいかなど本人の話を聞きながらそれにそえるように努めている。	毎月、利用者が集まる会を設け、直接思いを聴いている。生活の場面でも、一人ひとりの意向や関心事を把握している。把握した思いは、職員間で共有し、希望に沿うような暮らし方に活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの暮らし方や生活環境・ADLの状態など資料などで確認しながら把握し、職員全員で情報を共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝夕の申し送り・各自のケース記録等の中から職員一人一人把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月の職員会議において、数名ずつカンファレンスを行いケアプランに反映させている。本人や家族の意見も取り入れて介護計画を作成している。利用者の状態変化や、家族の要望に応じて臨機応変に対応している。	毎日の申し送りや職員会議で意見を出し合い、利用者、家族の要望を組み入れ、専門職を交えた意見交換を行い、介護計画を作成している。利用者の状態に合わせ柔軟に対応している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の様子を個別記録に記入し、朝夕の申し送りで職員間での情報の共有をはかっている。生活の中で、変化があればその都度報告し対応している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	天気の良い日には、本人の状況に応じて散歩に行ったり 買い物に同行したり 喫茶店に行くなどの支援をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	敬老会の招待者は、地元地域の行事に参加させてもらって交流ができています。地域のコミュニティセンターを年数回ホームの行事などに利用させてもらっている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所に協力医院があり、月2回の往診を受け利用者の状態を説明したり、家族とも連絡しあったりしている。通院時は、管理者・ケアマネ・職員が同行し説明を受けている。他に週1回協力歯科医の往診があり、利用者の半数近くが受診している。	契約時にかかりつけ医について、方針を説明している。協力医は月2回の往診があり、かかりつけ医も希望者に往診している。受診は、原則家族が同行している。緊急時は、ホーム職員が柔軟に対応している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護を利用している。医療については、医師の助言を活用 情報を共有しながら健康管理をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	病院と密に情報交換を行い、早期に退院できるように努めている。本人や家族との面会を多く持ち、連絡を取り合って入退院時の状況を把握している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族とかかりつけ医師と連絡を密にとるようにしている。家族会でも、代表から事業所の、重度化や終末期にむけた方針を説明し共有している。	重度化や終末期の取り組みについて、入居時に利用者、家族に方針を説明している。状態に合わせ医師、関係者が早い段階で相談し、家族の協力を求め最善の対応で取り組んでいる。	重度化や終末期の取り組みについて、家族や医師の意見を確認し、方針の明確化(重要事項に明記する等)に期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や事故発生時に備え、緊急連絡網やマニュアルをホーム内に掲示している。応急手当や初期対応の訓練は、検討中である。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練時1回は地域の消防署に来ていただき全職員・利用者対象に助言・指導を受け参加している。地域の避難訓練にも職員・利用者が参加し、交流を深め協力体制を築きつつある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個室対応であり、出入り口には暖簾をかけ、プライバシーは守られている。トイレ介助時はカーテンを使用し、声掛けの仕方など言葉使いも意識して日頃より配慮している。	居室、浴場、トイレには、のれんを掛け、プライバシーを守る工夫をしている。人生の先輩、地域の先駆者として尊重し、言葉づかいに配慮している。居室へ入る際は、声をかけ、許可を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で利用者の言葉や表情を確認しながら本人の思いや希望を引き出せるようさりげなく声掛けしている。お茶の飲み物など選択できるよう自己決定を尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	共に過ごせる時間を多くし、一人一人のペースに合わせた暮らしが出来るよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に理容師さんに来ていただきカットしてもらっている。利用者個々に合わせた身だしなみが出来るよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	地元の食材を多く使用し、手作りにしている。誕生会など本人の好みを聞き食事を作っている。出来るだけ自分で食事がとれるよう見守り・支援している。	旬の野菜を中心とした心のもった家庭料理を、利用者と共に作り、職員も同じテーブルで楽しく食事をしている。外出時には、外食を楽しみ、行事食づくりでは、利用者の希望や、経験を取り入れて作っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に応じた食事形態にし、量・質を考えカロリーにも配慮している。水分不足にならないようこまめに水分を取ってもらうようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	三度の食後、歯磨きの声掛けをし 義歯のケアやうがいなど利用者の状態に合わせた口腔ケアを行っている。歯科往診による口腔ケアも受けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレチェック表があり、排泄間隔を見ながらトイレ誘導や、声掛け介助をして失敗が少なくなるよう支援している。	排泄チェック表をもとに利用者の排泄パターンを把握し、声をかけ、トイレへ誘導をしている。重度の人もトイレに座ってもらい、自力で排泄できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の人は、主治医より薬を処方してもらい服用してもらっているが、消化のよい食事の工夫や、体を動かすことをして便秘予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週3回の入浴を実施し、入浴は順送りになるようにしている。木造で湯船も檜でゆったり入浴できる造りになっている。利用者の状態に応じ入浴日以外でもシャワー浴している。	入浴は、週に3回、利用者の状態に応じて提供している。楽しみは、檜の大浴場であり、全員が喜んで入浴している。希望により、機械浴やシャワー浴にも対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個室対応であり、自由に自分らしく気兼ねなく過ごすことが出来ている。起床・就寝時間も本人のペースを尊重している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局からの薬の説明書をよく読み理解する。服薬の支援は、一人ひとり仕分けし、間違いのないよう二人以上で確認し、服薬後は個人記録へ記入しチェックする。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	女性の方には、生活力を活かした家事のお手伝いや男性・女性を問わず趣味や経験にもとつた本人の状態にあった出来ることを支援している。毎月1回音楽療法があり、利用者・職員共に楽しみにしてる。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には、本人の状況に応じて車椅子の利用者も含め散歩に出かけ近所の方と挨拶したり花をもらうなど交流がある。外出行事も年に数回あり家族の協力を得て全員で出かけている。	日常は近隣を散歩し、地域住民と交流している。家族会と一緒に、初詣、紅葉、花見などの年間行事に出かけている。個人の希望する外出は、家族に依頼したり、買い物兼ねて出かけるように支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理はホームで行っている。家族の面会時等に出納帳にて預かり金の確認をして了承をもらっている。金銭管理が出来る人は少数で、買い物・理容代など支払いを自分で行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人や家族の要請があれば、取り次ぎなど支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下・壁・床・浴室等木材が使われており、天気の良い日には、バルコニーや窓から外が眺められ季節感が、感じられる。廊下には、季節の花や利用者職員が作り上げた作品も展示している。	共用の空間は、掃き出し窓の造りで、開放感がある。部屋の窓越から、季節感を味わうことができる。季節を題材にした利用者による作品や、行事の記念写真等を掲示し、気持ちが安らぐように工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者同士が自由に集まれる場所が数か所ありテレビ・カラオケなどもある。冬は、こたつを入れ暖かく過ごしてもらっている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全室和室仕様で、はき出し窓があり、開放的でみはらしがよい造りになっている。今まで本人が使用していた布団や家具・インテリア・テレビなど持ってきてもらい、居心地良く過ごせるようこころがけている。	居室は明るく、風通しが良い。全室、畳の和室にベッドを置いている。暖簾を掛け、表札を掲げ、利用者が自分の部屋と認識できるよう工夫してある。居室には使い慣れたミニテーブルや整理タンス等を配置し、家族の写真や手作りの作品を並べている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入口に部屋番号と表札をつけ、また、目印になるようなものを設置したりして間違えないようにしている。		